

特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

令和5年度 第1回理事会議事録

1. 日 時：令和5年5月12日（金） 午前10時30分～12時25分

2. 会 場：サプリ村野 環境保全研修室

（特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク事務局会議室）

3. 理事総数：13名

4. 出席者数：出席13名

本人出席：8名（井上、大石、兼瀬、小出、末岡、増本、松田、丸井、）

委任状出席：4名（市山、谷崎、谷本、福井） 議決権行使書1名（豊高）

オブザーバー 柳谷（枚方市環境部次長）、伊賀（枚方市環境部環境政策課課長）

5. 議 案：第1号議案 運営委員任命の件

第2号議案 2022年度事業報告書(案)承認の件

第3号議案 2022年度活動計算書(案)承認の件

第4号議案 2023年度事業計画書(案)承認の件

第5号議案 2023年度活動予算書(案)承認の件

6. 議事経過及び結果

(1) 本日の理事会は、定款第36条に定める定足数を満たして有効に成立している旨を述べて、開会を宣言した。

(2) 定款第35条の規定に基づき、井上理事が議長に就任した。

(3) 定款第39条第6項の規定に基づき、議長が議事録作成人に事務局、議事録署名人に増本理事、小出理事を指名した。

(4) 第1号議案「運営委員任命の件」

本日理事会をもって全運営委員の任期が満了するのに伴い、議長は上記議案を上程した。

議長が承認を全員に諮ったところ全員異議無く原案どおり承認可決、運営委員名が任命された。尚、各自の所属を明記すべしとの意見があり加筆することとした。

運営委員長には丸井晶子が選任された。

運営委員 赤井誠次（再任：自然エネルギー一部会長）、井上浩一（再任：理事長）、市山二郎（再任：理事）、柳谷武志（新任：枚方市環境部次長）、末岡妙子（再任：副理事長兼公共交通部会長）、豊高勝（再任：温暖化対策）、藤原秀昭（再任：環境教育部会長）、丸井晶子（再任：副理事長兼事務局長）、宮村隆喜（再任：温暖化対策）

運営委員長 丸井 晶子（再任）

(5) 第2号議案 「2022年度事業報告書(案)承認の件」

議長は上記議案を上程し丸井理事が概要の説明を行った。その後議長が質疑を求めた。質疑応答の後、議長が議案の承認を全員に諮ったところ、出された意見を反映し加筆することを踏まえ全一致で承認可決した。

<<質疑応答>>

末岡理事：中間支援事業に記載されている「支援団体・事業所」には、名称が記載されているところと、“等”や“他”でくくられているところがある。全部記載すべき。

丸井理事：承知した。加筆する。

末岡理事：13のその他⑤「その他参加したミーティング」及び⑥「団体・新議会棟への派遣」の欄について、誰が参加しているのか名前を記載すべき。

丸井理事：承知した。記載する。

(6) 第3号議案 「2022年度活動計算書(案)承認の件」

議長は上記議案を上程し丸井理事が概要の説明を行った。その後議長が質疑を求めた。その後、議長が議案の承認を全員に諮ったところ、全員一致で承認可決した。

<<質疑応答>>

松田理事：寄付金収入1948円は非常に細かな数字だがどこからのものなのか。

丸井理事：アワ・サイエンスファクトリーからで、NPOの解散に伴い、財産整理をした残金を寄付して下さったものである。備考欄に名称を記載する。

末岡理事：収入科目の協賛金と中間支援の備考欄に、「どこそ他」と記載されているが、記載するなら全部記載し、「他」でくくるならすべて記載しないというようにすべき。

丸井理事：承知した。個別名称は記載せず、数のみを記載する。

松田理事：決算書だが、“決算”と言う表記と“計算”と言う表記が混在している。議案書1ページの定款第52条第1項において“計算”が使われているということは“計算”が正しいのか。

丸井理事：数年前のNPO法の改正に伴い“計算書”を使用することとされ、当法人の定款も総会決議を受け改正した。従って正しくは“計算書”であるので、“決算”と書かれている箇所は修正し“計算”に統一する。

(7) 第4号議案 「2023年度事業計画書(案)承認の件」

議長は上記議案を上程し丸井理事が概要の説明を行った。その後議長が質疑を求めた。質疑応答の後、議長が議案の承認を全員に諮ったところ、出された意見を反映し加筆することを踏まえ全一致で承認可決した。

<<質疑応答>>

丸井理事：まず初めにお詫びを申し上げる。議案書に何点か加筆修正箇所がある。

1点目は23ページ【2 環境講座開催事業】の(3)くらわんか塾開催事業の事業内容を「環境問題、中でも気候変動の問題は今すぐ取り組まなければならないといった状況の中で、当法人の果たさなければならない役割は重要であると考えている。そこで、現在の環境問題及び当団体の活動に期待することなどについてのシンポジウムを開催する。」に変更。併せて、(1)の事業名「自然エネルギー学校2023の開講事業」を『自然エネルギー普及啓発事業「自然エネルギー学校2023の開講」』としていただきたい。

2点目は24ページ【3 中間支援事業】の(2)環境団体活動支援事業の事業内容2行目“運搬”を“支援”に修正していただきたい。

最後3点目、1点目の修正に伴い25ページの【8 自然エネルギー普及啓発事業】を削除し、【8】以降の事業番号を順位繰り上げていただきたい。

末岡理事：1つ目のくらわんか塾のところは修正されたのは、講師に現職議員が予定されているからなのか。

丸井理事：そうだ。環境講座は市の補助金対象事業であるため、現職議員に講師をお願いする訳にはいかない。予定している講師には別途、別の形でお願いしたいと考える。

松田理事：事業計画書に“予算額”と“支出見込額”の欄があり、どちらにも同じ数字が記載されているが、両方記載する意味はあるのか。どちらかでいいのではないか。

丸井理事：慣例としてこの書式を用いているだけで意味はない。予算額のみ記載とする。

(8) 第5号議案 「2023年度活動予算書(案)承認の件」

議長は上記議案を上程し、丸井理事が概要の説明を行った。議長が質疑を求めたところ、下のような意見が出された。その後、議長が議案の承認を全員に諮ったところ、出された意見を反映し加筆することを踏まえ全一致で承認可決した。

<<質疑応答>>

松田理事：費用の項目で、中間支援事業の昨年実績が5万5千円強あるにも関わらず、今年度予算が1万円となっている。一般的には昨年実績と同額、もしくは増額とされると思うのだがなぜか。

丸井理事：中間支援事業の一つにチラシやポスターの作成がある。これらの作成に当たっては、印刷費等の実費に加え制作費を頂戴している。これまで印刷費は立て替え払いをしているので支出として計上していたが、今年度はそれを計上しないことにしたため純粹に支出する経費(エコキャップ運搬用軽トラ借り上げ料)のみを計上することとしたためである。

松田理事：そのことは予算書からは読み取れない。従来通りでいいのではないか。

丸井理事：では従来通りとする。

末岡理事：環境教育推進事業の収支バランスが悪い。収入に対し支出が多い。

環境教育は環境保全推進において要となる人材育成を担っており、非常に重要な事業である。ぜひ人材育成事業を補助金対象事業として予算付けをしていただけるよう働きかけるべきだ。

丸井理事：その通りだと思う。努力する。

松田理事：枚方市の補助金だが、なぜこのような細かな数字となっているのか。

丸井理事：予算要求書の積算した結果が、そのような金額になっている。

松田理事：細かな積算に基づいた概算額でいいのではないか。一般的には概算要求額が使われている。

末岡理事：その通りだ。次年度は概算での予算要求をお願いしたい。

松田理事：昨年度も今年度も当期収支が大きな赤字となっている。このままでは、団体は立ち行かなくなり消滅するという事態となり、団体の質が問われ、団体に対する不信感が生まれる恐れもある。事業を縮小するなど見直す必要があるのではないか。

丸井理事：危機感を感じている。会員拡大や助成金の獲得など、収入増に努めていくと共に、事業の見直しも図っていきたい。

末岡理事：リユースコーナーのように少ない経費に対し、多くの人に支持されてい

る事業、本来当法人の事業はかくあるべきと思う。一方、多くの経費を使って行っているエコノートだが、新規参加者の少なさは問題ではないか。

丸井理事：確かにそうだが、最近またお誘いをするという方がちらほら出てきたので期待している。

松田理事：10万単位での削減を図らなければならないので大変だと思うがしっかりと見直しをしていただきたい。

7. その他（報告、意見交換、今後の行事説明など）

今回議案書に対していただいた意見に基づく修正については、事務局一任とし、議事録署名人及び理事長の確認を以って確定することを提案し全理事に承認された。

8. 閉会のことば

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。（12時25分）
上記の議事の要領及び結果を明確にするために、議長並びに議事録署名人2名が次に記名押印する。

令和5年5月12日

特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議 理事会

議 長 井上 浩一 ⑩

議事録署名人 増本 勝久 ⑩

議事録署名人 小出 哲男 ⑩